

只見ユネスコエコパーク Q&A(4)

Q

ユネスコエコパークに登録となった只見町に暮らす私たちができることはありますか？

A

ユネスコエコパークの目的は“人と自然との共生”の実現です。それは、私たちとその次世代、その先の世代までもが安心して、幸せに暮らすためです。そのために私たち人間が生きるうえで必要不可欠な自然環境や野生動植物を守り、そして、それらを絶やすことなく巧みに利活用しながら暮らす方法を継承・発展させることができたなら素晴らしいことだと思います。

どのような取り組みができるかを考える際に、注目すべきは地域のご高齢の方たちがお手本になることです。ご高齢の方たちは地域の自然と共に暮らす生活・文化を長年実践してきており、これから生きる私たちはこの姿に学び、継承・発展させることがユネスコエコパークの重要な取り組みです。

こうした視点に立ってユネスコエコパークの活動に取り組むこととなりますが、具体的に何ができるかは、世代や立場などにより多様に存在します。例えば、以下のようなものが考えられます。

- ・学校教育で地域の自然や伝統的な文化を教え・学ぶこと
- ・集落活動や地域の団体活動で地域の伝統文化を継承すること
- ・観光業における地域の自然や伝統文化を活用したエコツーリズム・グリーンツーリズムの推進
- ・農林水産業における自然環境に配慮した過程で生産される商品の販売とブランド化
- ・商業における地域資源や伝統技術を用いた製品の開発・販売
- ・企業活動での自然環境や野生生物に配慮した事業の計画と実施
- ・家庭での地域で循環するエネルギー（薪など）の使用や地域で生産された食材の使用

このような小さな取り組みの地道な積み重ねが只見町のユネスコエコパークの魅力を輝かせ、只見町の明るい未来を描くことに繋がるはずです。



ちよの会（民間団体）による手毬（伝統文化）の復活と商品化



地域の自然や文化を学ぶことを通して持続可能な社会を考える教育



自然や伝統文化を活かしたエコツーリズム・グリーンツーリズム



集落での伝統行事・伝統芸能の継承（小林神楽）



地域の資源や伝統技術を使ったお土産の開発・販売・ブランド化（伝承産品：るくる木地）



民間企業による野生動物の保全に配慮した工事施工

ユネスコエコパークの活動に関するご相談は只見町役場地域創生課ユネスコエコパーク推進係（電話0241-82-5220）までお気軽にお問い合わせ下さい。